

東京都立西高等学校 令和2年度学校運営連絡協議会報告

1 組織

- (1) 名称「東京都立西高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）」
- (2) 事務局の構成 総務部主任＝事務局長、総務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、教務部主任、生徒部主任、進路部主任、総務部主任、厚生部主任、1学年主任、2学年主任 計9名
- (4) 協議委員の構成
PTA会長、PTA旧役員、学校医、近隣小学校長、近隣中学校長、地域関係機関代表者、地域防災担当、消防署担当、警察署担当、同窓会長 計10名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年6月11日（木）
*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料の送付をもっての開催
協議委員委嘱、評価委員委嘱、協議会の趣旨、学校経営計画、学習指導・生活指導・進路指導・学年における指導の方針、重点項目などの確認。
 - 第2回 令和2年10月22日（木） 内部委員9名、協議委員6名
本校の現状と課題、協議委員から教育活動に対する設問・意見、学校評価アンケート項目の検討
 - 第3回 令和3年2月4日（木） 内部委員9名、協議委員4名
今年度の教育活動のまとめ、学校評価アンケート結果の報告、学校運営に関する提言、本年度の協議会の反省と次年度へ向けた課題
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年10月22日（木） 内部委員3名、協議委員1名
学校評価の基本方針の確認、学校評価アンケート項目の検討
 - 第2回 令和3年2月4日（木） 内部委員3名、協議委員1名
学校評価アンケート集計結果の分析・考察

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校の教育活動への理解」、「学校の実践・対応」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 971人
 - ・12月 保護者全員 971人
 - ・12月 教職員 78人
- (3) 主な評価項目
入学満足度、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、環境美化、家庭との連絡・相談、キャリア教育、防災教育、体罰・暴言、教員のライフ・ワーク・バランス（働き方改革）など。

(4) 評価結果の概要 (学校及び校長への意見・提言内容)

① 全体的傾向

4月からの臨時休業や新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、教育活動に様々な制限がかかったが、「入学満足度」は昨年同様 95%を超え、学習指導を含めて、全般的に肯定的な回答の割合が高い。例年低い「施設設備の満足」や「環境美化への取組」についても、肯定的な回答がやや増加している。

② 生徒

コロナ禍において、多くの学校行事が実施できず、部活動にも制限がかかり、我慢の多い1年間であったが、肯定的回答の割合が全般的に高い。学習指導に関する「教材や教え方の工夫」「満足できる授業」「質問に適切に回答」、進路指導に関する「進路情報の提供」「在り方生き方の指導」「視野を広げる機会」、「体罰・暴言の防止」など、学校の取組を高く評価している。特に、進路指導に関する「進路相談への対応」については、96%を超えている。生徒自身については、「規範意識」「ルールでなくマナー」が90%を超え生徒自身も学校生活にしっかり取り組んできたものと思われる。

③ 保護者

学習指導・進路指導・生活指導・特別活動を含めて、肯定的回答の割合が全般的に高い。「自主自律の学校生活」については、生徒自身の評価より10%も高く、「入学満足度」も95%と高く評価している。学校の「働き方改革」については、学校の取組をさらに周知していく必要がある。

④ 教職員

「学習への取組」「学校行事への取組」「部活動への取組」などで、生徒を肯定的に評価している。特に、前年度と比べて「文武二道の実践」「自主自律の学校生活」が15ポイント、「基本的な生活習慣」は10ポイント、「ルールでなくマナー」は14ポイント増加し、コロナ禍における生徒の取組を高く評価していると思われる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題 (学校の自己評価へ反映)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

全体的な傾向としては、例年と同様、大部分の設問で肯定的な回答の割合が高いものが多い。「入学満足度」については、生徒・保護者・教職員の三者ともに96%と上昇した。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

① 学習指導について

学習指導に対しては、生徒・保護者・教職員とも肯定的な評価が高いが、ICTの活用やオンライン授業への取組を一層高め、さらなる学力向上を目指して、学習指導力の改善に努める必要がある。

② 校内美化について

「環境美化への取組」の必要性は、生徒・保護者・教職員とも共通認識されており、厚生部の「校内美化プロジェクト」などを継続実施する必要がある。

③ 広報活動について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校見学会は実施できなかったが、今後も学校ホームページや学校説明会等の広報活動をより充実させる必要がある。「働き方改革」などの取組について、広く理解してもらう必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

激動するグローバル社会で活躍できる「大きな器」の育成を目指して、保護者・地域と連携し、学校教育の全般で組織的・計画的に教育活動を推進し、進学指導重点校として期待される成果を継続的に挙げる。

(2) 学習指導

学習指導要領の改訂を視野に入れ、生徒の学習意欲と基礎学力を向上させ、「思考力、判断力、表現力」の充実を目指して、ICTを活用した教材や教授法などを一層工夫し、指導力向上に努める。

(3) 特別活動

本校の校是である「文武二道」の実現を図るとともに、部活動ガイドラインに準拠し、働き方改革の推進の観点から、部活動の在り方について検討を重ね、実践する。

(4) 生活指導

遅刻や自転車による交通事故防止などの基本的な生活習慣の確立、及び校内環境美化を学校全体で推進する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数 8

そう思う	多少 そう思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	そう 思わない	分からな い	無回答
3	5	1			1	

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

職員会議 0回（0人） 企画調整会議 0回（0人）

8 その他

学校評価アンケートは、生徒にClassiを利用して行った結果、集計作業効率が著しく向上した。今後は保護者アンケートへのClassi利用も検討していく。

	対象者数（人）			回答者数（人）			回答率（%）		
	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員
今年度 全体数	971	971	78	932	827	76	95.9	85.2	97.4
1年生	328	328		318	266		96.9	81.1	
2年生	325	325		315	295		96.9	90.7	
3年生	318	318		299	266		94.0	83.6	
昨年度 全体数	957	957	76	928	770	74	97.0	80.4	97.4
1年生	319	319		613	283		96.1	88.8	
2年生	319	319			251			78.7	
3年生	319	319			315			238	